



山王中だより

学校教育目標 未来を見つめ自ら行動する生徒

令和4年3月15日
第15号
校長 土屋 孝夫
相談室 2957-4968



卒業おめでとう

卒業生の皆さん。卒業おめでとう。卒業のはなむけにはふさわしくないかも知れませんが、「人間万事塞翁が馬」のお話を紹介します。知っている人も多いと思いますが、2000年以上前の中国のお話です。

「中国の北のほうに北方の異民族の侵入を防ぐ砦がありました。そこに住むおじいさんの馬が、ある日逃げ出してしまいました。それを知った近所の人々は、おじいさんを慰めました。しかし、おじいさんは「このことが幸運を呼び込むかもしれない」とあまり気に留めていませんでした。しばらく経ってから、なんと逃げた馬が戻ってきました。しかも、たくさんの駿馬（足の速いよい馬）を連れて戻ってきたのです。近所の人々は、喜びましたがおじいさんは「このことが禍になるかもしれない」と言うのです。しばらくすると、おじいさんの息子がその駿馬から落ちて怪我をしてしまったのです。近所の人々がお見舞いに行くと「このことが幸運を呼び込むかもしれない」と言いました。やがて戦争が起き、この砦も戦争に巻き込まれてしまいました。しかしおじいさんの息子は足を怪我していたので、戦争に行かずに生き延びることができました。」

幸運だと思ったことが不幸の原因になることもあれば、不幸だと思ったことが、のちの幸運につながることもあるということです。調子のよい時こそ気を引き締めて調子に乗るなよ、そして、悪いことがあっても悲観せずあきらめてはいけないよ、きっといいことがあるさ、という人生への応援歌なのだと、私は思っています。

さて、みなさんは、中学校生活の3分の2をコロナ禍の中に置かれ、満足のいく活動ができなくなってしまいました。特に3年生になった今年は、楽しみにしていた修学旅行を早々に延期することになりました。体育祭や合唱祭も中止や縮小せざるを得ませんでした。そのたびに楽しみを奪われ落胆したはずですが、さらに受験を控えた3学期には2度にわたる学年閉鎖もありました。家族全員が神経の磨り減るような思いをしたはずですが、しかし、君たちはコロナ禍の生活に、決して負けることなく立ち向かい順応しました。スポーツフェスティバルや合唱祭を成功させ、奇跡の3日間と言われる修学旅行を実現させました。そしてオミクロン株の嵐が吹き荒れる中で、受験期を乗り越え自分の力で道を切り開きました。きっと、平穏無事な3年間を過ごしたよりも、強靱な精神力を身につけることができたのではないのでしょうか。また、家族や支え合う仲間のおかげを、より強く感じることはできたのではないのでしょうか。マイナスと思ったことをぜひプラスに転じられるように、またプラスに考えられるように、生き続けてほしいと願っています。

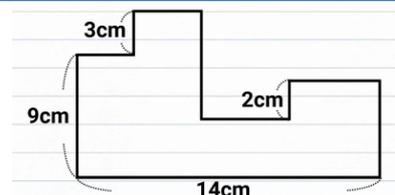
保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業誠にありがとうございます。本日をもってお子様は、9年間の義務教育を修了することになりますが、長年のご苦勞に対して、改めて敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。また、この間、本校の教育活動並びにPTA活動に対し、温かいご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。至らない点多々あったことは存じますが、常に温かくお見守りいただいたことに、職員一同を代表して、改めて感謝申し上げます。



コーヒータイム 3年生は最後の問題ですよ

右図の周囲の長さは何cmになりますか？

前号の答え 1 50頭 2 30秒



卒業生代表 別れの言葉

頬を撫でる風も和らぎ、日ごとに春の訪れを感じられる今日の良き日に、私達は卒業を迎えます。本日このように盛大な式を挙げてくださった先生方や関係者の皆様、卒業生を代表し、心より御礼申し上げます。また、本日、無事に卒業を迎えられたことを、卒業生一同、大変うれしく思います。

思い起こせば3年前、着慣れない制服に身を包み、期待と不安の両方を持ちながら入学式に臨んだことが、今でも鮮明に思い出されます。1年生の頃、始まったばかりの中学校生活では、初めて経験することが沢山あり、その一つ一つに驚いたり、感動したりしました。しかし、順風満帆だった生活は、新型コロナウイルスのまん延により遮断されてしまいました。そして、2年生になってからの学校生活は、臨時休校から始まりました。初めての「先輩」という立場にはなかなか実感が湧きませんでした。行事などで他学年との交流を深めるうちに、徐々に「後輩を持つこと」の自覚や責任が生まれました。

そして3年生になり、いよいよ義務教育における最終の学年となりました。「最上級生」や「受験生」などという様々な肩書を背負ったこの一年間には、困難なこともたくさんありました。修学旅行が延期になり、体育祭や合唱祭は学年別の開催になりました。とりわけ、県公立高校の入学試験直前の学年閉鎖やオンライン授業は、多くの人を不安に陥せました。しかし、そのような状況でも、私達は自分ができることを模索し続けました。

本日まで数々の壁を乗り越えることができたのは、三年間ともに高め合い、励まし合った仲間がいたからです。同級生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。また、本日まで私たちを導いてくださった先生方。勉強以外においても、進路のことや人間関係のことも親身になり相談に乗ってくださいました。先生方から頂いた助言があったからこそ、私達は自分の悩みと真剣に向き合い、自らの手で選択をし、少しずつ成長していくことができました。先生方、三年間本当にありがとうございました。

そして、常に私達に寄り添い、支えてくれた家族へ。迷惑や心配をかけてしまうこともたくさんありましたが、辛い時には何度も話を聞いてくださり、わがことのように共に考えてくれ、本当にありがとうございました。特に、この一年間では、家族の存在の大きさを強く実感しました。十五年間、本当にありがとうございました。これから先もしばらくはお世話になりますが、いつか恩返しができるように努力を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。

最後になりますが、山王中学校で過ごしたこの三年間に関わってくださった沢山の方々に、改めて感謝申し上げます。そして、今後の山王中学校がますます豊かな歴史を刻んでいかれることをここに祈りつつ、別れの言葉とさせていただきます。

令和4年3月15日 卒業生代表 ○○ ○○



3 / 1 4 立志式

卒業生が学年生徒全員の前で、卒業後の決意を述べる大切な儀式です。ともに過ごした仲間と自分自身に誓った決意をいつまでも忘れずに、夢の実現に向けて一步一步前進し続けてください。



頑張っています 山王中生！ (敬称略)

●各種優良児童生徒表彰 (3年生)

- 埼玉県児童生徒表彰 ○○ ○
- 産業教育振興優良卒業生表彰 ○○ ○○
- 体育優良児童生徒表彰 ○○ ○○ ○○ ○○

●書き初め展覧会県展

- 特選 1年 ○○ ○○
- 優良 2年 ○○ ○○ 3年 ○○ ○○

●児童生徒美術展

☆埼玉県特選 ◎入間地区特選 ○入間地区入選 無印 市内展佳作

	☆	◎	○	無印	市内展佳作
1年生	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
2年生	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
3年生	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

